

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県・みよし市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	みよし市文化財保護計画（無形民俗文化財 郷土芸能囃子・棒の手伝承活動）	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>みよし市の文化遺産を後世に伝承し、文化遺産を活用し地域活性化を図るため、本市の地域に現在も存続する伝統芸能である各地区のお囃子及び棒の手の伝承活動を通じて、文化遺産の意義を認識してもらい、地域のつながりに活用することを目指す。</p> <p>1 地域で行われている練習の公開（平成28年度～平成32年度）  2 市で主催する郷土芸能伝承活動発表会への参加促進（平成28年度～平成32年度）  3 地域の祭礼で使用する山車及び囃子台の修理、楽器・道具の修理・新調（平成28年度～平成32年度）</p>			
6 実施体制			
<p>みよし市教育委員会が本実施計画に係る全体の企画調整や各補助事業に係る指導を行う。  主な担当課、役割は次のとおり。  みよし市教育委員会歴史民俗資料館：各補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整。庁内関係各課との連携・調整。  また、補助事業は次の団体が実施する。  みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会（委員長 鈴木 昭人 ）  構成団体（新屋始め囃子保存会 5 団体、棒の手保存会の計 6 団体）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 3,455 千円	平成31年度申請額： 634 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
郷土芸能を通じて次世代に引き継ぐことにより、絆が生まれ、民俗芸能の保存と推進ができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	みよし市教育委員会歴史民俗資料館		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	郷土芸能伝承活動発表会の一般観覧数			関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 480 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 550 人					
設定根拠 1 :	毎年みよし市主催で開催される、郷土芸能伝承活動発表会への一般観覧者数で、市民の伝統芸能の対する理解・関心度をはかる。平成28年度の480人から毎年3%程の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
480 人	498 人	360 人	人	人	人	
0%	26%	-171%				
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	実行委員会を構成する各保存会員に所属し、伝統文化を伝承する小中高校生の人数			関連事業:	②③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 270 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 295 人					
設定根拠 2 :	平成26年度276人から27年度265人まで減少した保存会会員である練習参加者が、28年度より練習を公開し、経年劣化で破損した楽器を整備することで、28年度には270人に増加。現状を維持しつつ毎年5人の増加を設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
270 人	273 人	196 人	人	人	人	
0%	12%	-296%				

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	みよし市文化財保護計画（無形民俗文化財郷土芸能囃子・棒の手伝承活動）					実施団体：	みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	郷土芸能伝承活動発表会の実施（毎年9月開催）										
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	郷土芸能伝承活動発表会(みよし市主催毎年9月開催)出演者数(みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会に所属しない保存会を含む)										
目標値：	【現状値】平成 28 年度 380 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 485 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
380 人	383 人	425 人									
0%	3%	43%									
事業②：	みよし市文化財保護計画（無形民俗文化財郷土芸能囃子・棒の手伝承活動）					実施団体：	みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	伝承者養成のために、小中高校生を対象に各保存会で行われる練習会の実施（公開）										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	練習に参加し、祭礼や発表会で伝統芸能を披露する小中高校生の保存会会員数										
目標値：	【現状値】平成 28 年度 270 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 295 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
270 人	273 人	196 人									
0%	12%	-296%									
事業③：	みよし市文化財保護計画（無形民俗文化財郷土芸能囃子・棒の手伝承活動）					実施団体：	みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	経年劣化により汚破損した用具を修理・新調し練習環境を整えるとともに、祭礼行事での演技の向上をはかる。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	練習に参加し、祭礼や発表会で伝統芸能を披露する小中高校生の保存会会員数										
目標値：	【現状値】平成 28 年度 270 人 ⇒ 【目標値】平成 32 年度 295 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
270 人	273 人	196 人									
0%	12%	-296%									